

令和4年度 第2回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月8日（金） 13時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 光明小学校 4階 学習室
- 3 出席委員 小倉 端、小澤 房世、岡部 かおり、笹竹 和行、河島 秀夫  
関島 貴浩、島 克寿
- 4 欠席委員 中谷 勲
- 5 学 校 中野 主税（校長）、藤岡 政哉（教頭）、土屋 淳心（CS 担当教員）  
横山 貴美恵（校務アシスタント）
- 6 教育委員会 清水 春悠（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項

- (1) 学習支援について今後の取組 ～地域と距離を縮めるために～
- (2) ドリームハウスの活用について

9 会議録作成者 校務アシスタント 横山 貴美恵

10 会議記録

教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 土屋より、学習支援について今後の取組について、別紙（7頁）を用いて説明があり、協議・意見交換した。

- ・学習支援について、[先生との打ち合わせ]－[ボランティア募集・調整・依頼]－[実施]の工程において学校支援コーディネーター（関島委員、以下「CD」と略す）とのやりとりを踏まえると、学習支援は1ヶ月に1実践が適当。（土屋）
- ・ボランティアとのやりとりとは、どのようなことをするのか。（小倉会長）  
→CDが募集をかけ、当日集まった際に詳細を伝え、支援してもらう。（教頭）
- ・読み聞かせボランティア、図書館ボランティア募集について、別紙の日程と募集内容が望ましい。（教頭）
- ・保護者ボランティアとの連携はどのようになるのか。（岡部委員）  
→CDと土屋先生で募集・調整を行う。保護者も学校経由だと安心感があるため、CDに連絡するより学校に連絡をする。（関島委員）
- ・CDの負担が多くなるため、やりとり等の仕組みを検討した方がいい。（岡部委員）
- ・仕組みやボランティアのデータベースを作った方がいい。（小倉会長）
- ・読み聞かせについては、光明幼稚園では人材と日程について一定の仕組みができあがっている。（小澤委員）
- ・読み聞かせについては、天竜お話の会はこれまで通りとして、それとは別に保護者のボランティアを設けて、読み聞かせの回数を増したい。（教頭）
- ・花壇ボランティアはどのようなことをするのか。（岡部委員）  
→まずは水やりのみです。（教頭）
- ・ボランティア募集までの流れはどのようにするのか。（河島委員）  
→先生からボランティアの依頼があったら、内容について協議会で協議し、ボランティアを決め、

CDが募集をかける。募集は[さくらメール]等で学校から連絡する。

学校は中継をするが、CDに情報が集まるようにする。(土屋)

- ・1年やってきたとして、ボランティアのデータはどうするのか。(河島委員)
  - 学年関係なく、卒業生の保護者や地域も含めてデータを管理する。(土屋)
  - 他の地域では、自治会としてボランティアデータ管理の仕組みができていますが、浜松市では仕組みができていないため、各CDに集中している。(教頭)
- ・1年やった成果や課題についてどのように検討するのか。(河島委員)
  - 1年の最後に自己評価を出してもらって、今後の課題として対応する。(清水さん)
- ・CDが作成したボランティア募集のチラシなどは1歩前進したと思う。(岡部委員)
- ・CDだけだと大変なので、各学年の責任者(教師)を設けてみてはどうか。(小澤委員)
- ・CDとしての仕事の方はどのようなですか。(小倉会長)
  - 募集の掛け方については、チラシ等ひな形を作れば大丈夫なので、今年は私と土屋先生との連携でやろうとしている。今後はボランティアしてくれた方への挨拶についてもしていきたいので、来年度は女性(ボランティアは女性が多いため)のCDも必要かと。
  - 次のCDが1からだと大変なので、引継ぎしつつの仕組みができたらい。(関島委員)
- ・ボランティア募集を決める時の考え方はどのようなか。(笹竹委員)
  - 今年度は先生が希望するボランティアを中心に行っている。学校・保護者の関わりだけでは見いだせないが子供にとって大切な体験として、地域の関わりも必要と思う。(関島委員)
- ・CDの費用は大丈夫か。(小倉会長)
  - 1人増やすのには大丈夫。(校長)
- ・CSの仕組み自体どうかと思う。皆忙しい。(岡部委員)
- ・保護者にボランティア募集についてお礼の挨拶をするのもいいが、子供たちからお礼を言われて、そのうえCDから挨拶となると、加減として難しいところがある。(河島委員)
- ・募集をしても集まりすぎた場合、対応するのが難しい。(関島委員)
- ・教員に対する学習支援希望については、それぞれ地域の方、CDの知り合い、保護者に声掛けしていく。(土屋)
- ・今のやり方でボランティアを続けていき、課題を見つけていくとの認識でいいですか。(岡部委員)
  - そうです。(土屋)
- ・読み聞かせを毎週火曜にできるか。(岡部委員)
  - 毎週人は集まらないかもしれないが、人がいる時だけでも行いたい。(教頭)
- ・今年度はできることからボランティアを進めていき、ボランティアデータをあつめ、課題を洗いだす流れでやっていく。(岡部委員)

## (2) ドリームハウスの活用について、協議・意見交換した。

- ・ドリームハウスのボランティアについて、どういったスケジュールにしているか。(岡部委員)
  - まずは上記(1)のボランティアを優先して行いたい。(教頭)
- ・ドリームハウスについては、撤去するか活用するかの検討するのか。(河島委員)
  - 私の知人が、ドリームハウスを撤去するより活用できないかとの話があった。(校長)
- ・ボランティアが集まったときの、気軽な集合場所として活用するのはどうか。(小澤委員)
- ・ドリームハウスについては学校の設備ではないため、そこで子供たちに何かあってはとも思うため撤去も致し方ない。メンテナンスも大変。(岡部委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他連絡事項等

教頭から、自己評価の説明と、今後の会議日程（別紙「次第」参照）について説明があった。